

シラバス参照

授業科目名	作業療法学概論
単位数	1
授業形態	講義
講義コード	6040
授業担当者氏名	清水順市(シミズ ジュンイチ)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法における作業の意味と役割を説明できる。(DP1, DP2, DP3) 作業療法士として社会的責任について説明できる。(DP1, DP2, DP3, DP4, DP5) 疾病と障害と作業療法の関係を説明できる。(DP6, DP7, DP8, DP9) 																								
授業概要	<p>作業療法の誕生と歴史、そして変遷を日本と世界との違いを比較し、その理由を知る。人にとって健康とは何か、健康の姿を作業モデルとICFの考え方と比較して知る。 作業療法が医学モデルから社会学的モデルまで幅広い対応をしながら作業療法の考え方と支援法を理解する。さらに対象者に対する作業療法の支援法を修得する。</p>																								
教育課程内の位置づけ	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 専門教育科目 専門科目 基礎作業療法学 1年 必修科目																								
授業におけるアクティブな特徴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特徴</th> <th>該当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>B: 課題解決型(PBL)連携なし</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>C: 討議(ディスカッション、ディベート等)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>D: グループワーク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>E: プレゼンテーション</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>F: 実習、フィールドワーク</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>I: 反転授業</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>J: 外国語のみで行われる授業</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	特徴	該当	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-	B: 課題解決型(PBL)連携なし	-	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○	D: グループワーク	○	E: プレゼンテーション	○	F: 実習、フィールドワーク	-	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	○	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○	I: 反転授業	-	J: 外国語のみで行われる授業	-	K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	
	特徴	該当																							
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-																							
	B: 課題解決型(PBL)連携なし	-																							
	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○																							
	D: グループワーク	○																							
	E: プレゼンテーション	○																							
	F: 実習、フィールドワーク	-																							
	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	○																							
	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○																							
	I: 反転授業	-																							
	J: 外国語のみで行われる授業	-																							
K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業																									
実施形態	対面授業科目																								
実施形態について	<p>※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。 対面授業科目 : 授業回数の全部あるいは授業回数の半数以上を対面で行う授業科目 メディア授業科目 : 上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目 ※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる可能性があります。 変更の場合はmanaba等で連絡します。</p>																								
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>日本と世界における作業療法の発展</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>理学療法士・作業療法士法と関連法規</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>専門職の倫理</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>作業療法の実際(医療・地域)</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>作業療法の実際(身体障害・精神障害)</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>作業療法の実際(発達障害)</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>作業療法の発展</td> </tr> </tbody> </table>	第1回	日本と世界における作業療法の発展	第2回	理学療法士・作業療法士法と関連法規	第3回	専門職の倫理	第4回	作業療法の実際(医療・地域)	第5回	作業療法の実際(身体障害・精神障害)	第6回	作業療法の実際(発達障害)	第7回	作業療法の発展										
第1回	日本と世界における作業療法の発展																								
第2回	理学療法士・作業療法士法と関連法規																								
第3回	専門職の倫理																								
第4回	作業療法の実際(医療・地域)																								
第5回	作業療法の実際(身体障害・精神障害)																								
第6回	作業療法の実際(発達障害)																								
第7回	作業療法の発展																								

授業外学修 予習(事前学 修)	各授業	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法の視聴覚教材を観て、その感想意見をまとめて提出する。 次回授業の章を読んでくること。
	[平均30分]	
授業外学修 復習(事後学 修)	各授業	<ul style="list-style-type: none"> 復習のクイズを行うので、授業内容を確認及び復習しておくこと。
	[平均30分]	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出(発表を含む): 20% クイズの得点: 20% 定期試験: 60% 	
教科書等	矢谷 令子編集: 作業療法概論, 協同医書出版	
課題に対するフ ィードバックの 方法	授業開始時に前回までの授業内容のクイズを実施し、解説する。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 資料は必要に応じてPDFで配信する。 	
授業担当者の 実務経験の有 無	実務経験あり	
「授業担当者の 実務経験の内 容」および「実 務経験を活か した授業内容」	脳血管障害, 脊髄損傷, 切断, 神経筋疾患, 発達障害, 精神疾患, 認知症などの事例を紹介して授業をすすめる。	
ファイル		